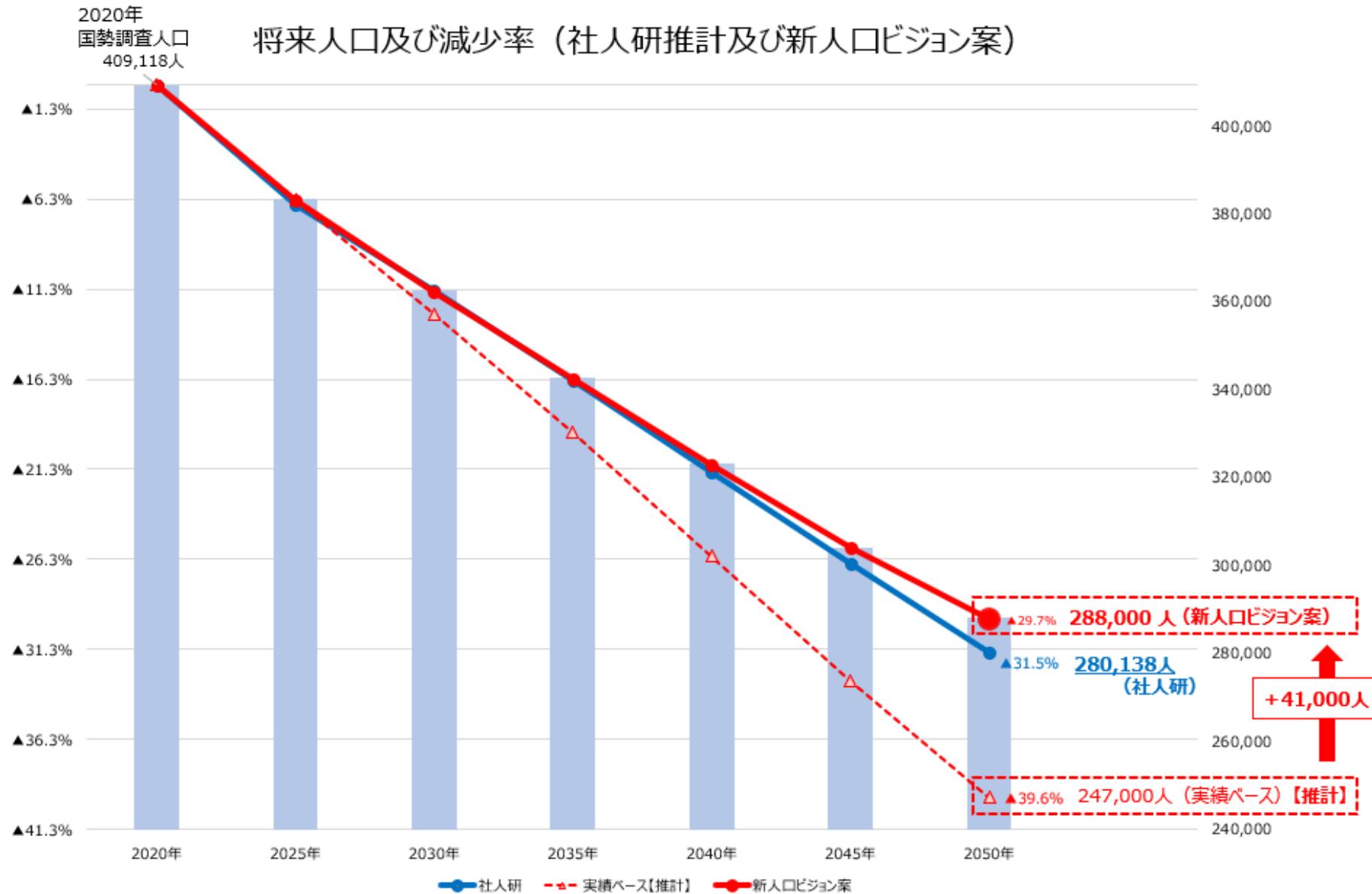


第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)

(計画期間 令和8年度から令和12年度)

※白紙ページ

長崎市の人団の将来展望(新人口ビジョン)



若い世代に選ばれ、「ひと」と「まち」が成長するながさき

基本的な考え方

◆人口減少を緩和させる

自然動態、社会動態の両面で人口減少のスピードを緩和させることを目標とする

◆持続可能な「まち」をつくる

人口規模が小さくなっても暮らしやすく、多様性に富んだ成長力のある「まち」をつくることを目標とする

3つの基本目標

基本目標1

人・企業・投資を呼び込み、経済を再生する

基本目標2

こどもをまんなかに、みんなで支え、育てる

基本目標3

まちの基盤を整え活かし、暮らす魅力を高める

基本目標1 人・企業・投資を呼び込み、経済を再生する

部会長：産業雇用政策課

◆基本的方向

主に社会減対策として、若い世代の転出超過に歯止めをかけることを意識し、稼ぐ力の向上や人手不足対策をはじめとする地場企業の支援や新たな産業の創出など、経済再生を目指す取組みを行う。

◆取り組むうえで意識すべき視点

- 女性や若者の活躍促進 ■生産性の向上や高付加価値化
- 産学官・広域連携 ■大学等の教育機関との連携

◆具体的施策

(1) 地場企業・産業の支援

C1 C3

①稼ぐ力の向上

地域独自の魅力ある製品・サービスの開発、提供やマーケティングを支援し、販路開拓や新規マーケットへの参入を進め、市場競争力の強化を図る。また、中心市街地をはじめとした商店街等への誘客を促進するため、回遊性の向上や、個店の魅力向上に取り組む。

②人手不足対策を含む働き方・職場改革等の推進

学生及びU・I・Jターン希望者の地元就職・定着や外国人などの多様な人材の確保を図るため、国・県・大学などの関係機関と連携し、地元で働く魅力の発信や地場事業者の採用活動、職場環境の整備に関する支援に取り組む。

③水産業・農林業の振興

水産業や農林業を環境変化に強く次世代につながる持続可能な産業にするため、高品質な水産物の適正かつ効率的な生産・流通に取り組むとともに、安心して農林業を営む人・産地の育成に取り組む。

(2) 新たな産業の創出

C2

①イノベーションを牽引するプロジェクト・スタートアップ創出

新事業へのチャレンジを応援するため、地場企業等との関係構築や支援機関との連携など支援体制の強化を図り、多様なプレイヤーの創出とその成長支援に取り組む。

②成長分野の強化

多様な地域資源の一体的な高付加価値化のため、成長分野の関連企業を誘致するとともに、活力強化に向けた支援の継続・拡充に取り組む。

(3) 交流の進化 A2 C1

①受入態勢の充実

長崎の歴史・文化・食などの地域資源を活かし、訪問客に長崎ならではの体験価値を提供する。また、観光案内機能の強化や、多様なニーズに対応できる周遊促進の仕組みを構築するとともに、オーバーツーリズム対策を図り、訪問客の安全安心・快適な滞在環境づくりを進める。

②高付加価値化による消費単価の向上

地域資源を活かした高付加価値化コンテンツの開発や、事業者の収益性・競争力の向上を促進し、稼ぐ力の向上に取り組む。

③戦略的な誘致・プロモーション

国内外の訪問客の属性やニーズ、消費行動等のデータを収集、分析し、ターゲットに即した効果的なプロモーションを実施するとともに、国際会議などMICE誘致の強化を図る。

(4) 移住促進・関係人口の創出・拡大

C2 H1

①移住希望者に対する支援の充実

長崎で暮らす魅力を発信し、移住希望者一人ひとりに対してきめ細やかな支援を行うとともに、移住者の定住に向けたサポートを行う。

②域外の人材と多様で継続的に関係する機会の充実

域外に居ながら多様な形で本市との継続的なつながりを持ち、地域課題の解決や将来的な移住などにつながる「関係人口」を創出・拡大するため、ふるさと納税を通じた関係構築や域外へのシティプロモーションの強化など、交流や参画の機会の創出に取り組む。

◆総括指標

指 標 名	基 準 値	目 標 値
法人市民税法人税割を課税された法人数	4,166社 (R6年度)	4,166社 (R12年度)
域内大学卒業者の市内就職率	27.3% (R6年度)	27.3% (R12年度)
移住者数	546人 (R6年度)	550人 (R12年度)

◆関連する

総合計画

A2	交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくりを進めます
C1	地場事業者の成長を支援します
C2	新たな産業活力を生み出します
C3	水産農林業を環境変化に強く次世代につながる持続可能な産業にします
H1	多様な主体が情報共有しながら参画と協働によるまちづくりを進めます

基本目標2 こどもをまんなかに、みんなで支え、育てる

部会長：こども政策課

◆基本的方向

主に自然減対策として、少子化に歯止めをかけることを意識し、結婚から、妊娠・出産・子育て・教育まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組む。

◆取り組むうえで意識すべき視点

- ライフステージに応じた切れ目のない支援
- 多様性の視点
- 産学官・広域連携
- 地域社会全体で応援する視点

◆具体的な施策

(1) 結婚希望者への支援 F4

①出会いの場の創出、機運の醸成

交際や結婚を望む市民の希望を実現するため、独身者に対する交際や結婚に向けた後押し支援を行うことや、民間事業者等と連携し、まち全体で結婚を応援する機運を醸成する。

(2) こども・子育て支援 F4

①子どもの権利の尊重と自分らしい育ちの支援

子どもの権利に関する理解の促進や子どもの意見表明の機会、居場所の確保などに取り組む。

②妊娠・出産・育児への切れ目のない支援

結婚、妊娠・出産期、子育て期の各ライフステージを通した切れ目ない継続的な支援を行うとともに、子どもの健やかな成長を支援する。

③子ども・子育て家庭への支援

教育・保育の量の確保及び質の向上、学校教育の充実による子どもの支援のほか、子育て家庭の負担軽減に取り組む。

④きめ細かな対応が必要な子どもと家庭への支援

生活困窮やひとり親家庭、障害児支援のほか、特に配慮を要する子どもとその家庭を支援する。また、子どもの安全対策、虐待・いじめの発生予防、また早期発見・早期対応にむけた支援体制の充実などに取り組む。

⑤まち全体で子ども・子育て家庭を応援する機運の醸成

地域や企業、職場など、こどもを取り巻くあらゆる環境において子育てを応援する環境整備、機運醸成等に取り組む。

(3) 教育環境の充実 G1

①児童生徒の「確かな学力の向上」や「健やかな学び」のための教育環境の充実

教職員の指導力の向上を図るとともに、多様な学びの場を確保し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境の充実を図る。

長崎市版キャリア教育や国際理解教育等を推進し、国際性豊かで、長崎を愛する心をもち、まちを支える人材の育成を図る。

②児童生徒が安全・安心に学べる教育環境の整備

次代を担う子どもたちの教育効果をより高めるため、学校規模の適正化と適正配置を進める。

子どもたちが安全・安心に学べる教育環境を整えるため、長寿命化計画に沿って、各学校の改築や予防保全のための大規模改造などを実施し、老朽化対策を推進する。

◆総括指標

指標名	基準値	目標値
今、自分が幸せだと思う割合（小～高校生）	95.0% (R6年度)	95.0% (R12年度)
出生数〔暦年〕	1,904人 (R6年)	2,180人 (R12年)
子どもを育てるについて楽しいと思うときが多い未就学児保護者の割合	67.6% (R5年度)	70.0% (R12年度)

◆関連する総合計画

F4 こどもが夢や希望を持って健やかに成長できるまちづくりを進めます

G1 新たな時代を生き抜く子どもを育みます

基本目標3 まちの基盤を整え活かし、暮らす魅力を高める

部会長：都市経営室

◆基本的方向

人口が減っても暮らしやすいまちとするため、ハード・ソフト両面における地域づくりを行うとともに、長崎市独自の地域資源を生かした魅力的なまちづくりに取り組む。

◆取り組むうえで意識すべき視点

- 生活の利便性や満足度の向上
- 多様な主体（高齢者・障害者・外国人等）の活躍
- 産学官・広域連携

◆具体的な施策

(1) 安全安心で暮らしやすいまちの基盤づくり E1 E3 E4

①都市機能の維持・集積

社会情勢やライフスタイルの変化などを踏まえながら、持続可能な都市構造「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」の実現に向けて、人口規模や地区の実情に応じた、商業や医療、福祉、子育て、行政などの都市機能の維持・集積を図る。

②地域をつなぐネットワークの充実

良好な道路ネットワークの形成に向けた幹線道路等の整備を図るとともに、主要な拠点間の交通ネットワークを最適化し、移動手段の多様化や乗継・待合環境の改善などにより、誰もが移動しやすい交通環境の実現を目指す。

③安全・快適な住環境

長崎市に住みたい・住んでいる人が多様な住まいを選択できる環境づくりを進めるとともに、建築物の適正管理や空き家対策等による建築物ストックの質の向上を図ることや脱炭素による省エネ・再エネ化などにより、安全で快適な住環境づくりを進める。

(2) 市民が主体の暮らしやすい地域づくり E1 E2 H1

①地域コミュニティの活性化

地域コミュニティの活性化に向けて、自治会加入の促進、地域コミュニティ連絡協議会の設立及び運営支援、担い手育成、情報発信、公民館のコミュニティ拠点化など、地域の持続可能な運営と一体感醸成に取り組む。

②まちづくりの人材育成及び協働の推進

シビックプライドの醸成につながる取り組みを推進するとともに、多様な主体が地域や市民活動などへ主体的に参画しやすくなるための支援を通じて、人材の発掘・育成と協働のまちづくりを推進する。

(2) 市民が主体の暮らしやすい地域づくり

③地域防災力の向上

誰もが安心して暮らし続けられるよう、都市の防災機能向上及び消防力の充実を図るとともに、地域と連携・協力し、防火・防災力を高めることで、充実した防災体制を構築する。

(3) 地域資源を活かした魅力あるまちづくり A1 G2 G3 G4

①学びの場の魅力向上

主に若い世代に対して、魅力的な「学びの場」、「チャレンジできる場」を提供し、その魅力を広く発信する。

②楽しみの創出

主に若い世代の楽しみを創出するため、スポーツ観戦や芸術文化鑑賞を楽しめる機会や、スポーツや芸術文化に取り組める場の充実を図る。

③地域資源の磨き上げ

長崎が住みたい、住み続けたいと思われるような魅力的なまちであり続けるため、長崎ならではの景観や自然、歴史・文化や風土を守り、伝え、活かすための取組みを行う。

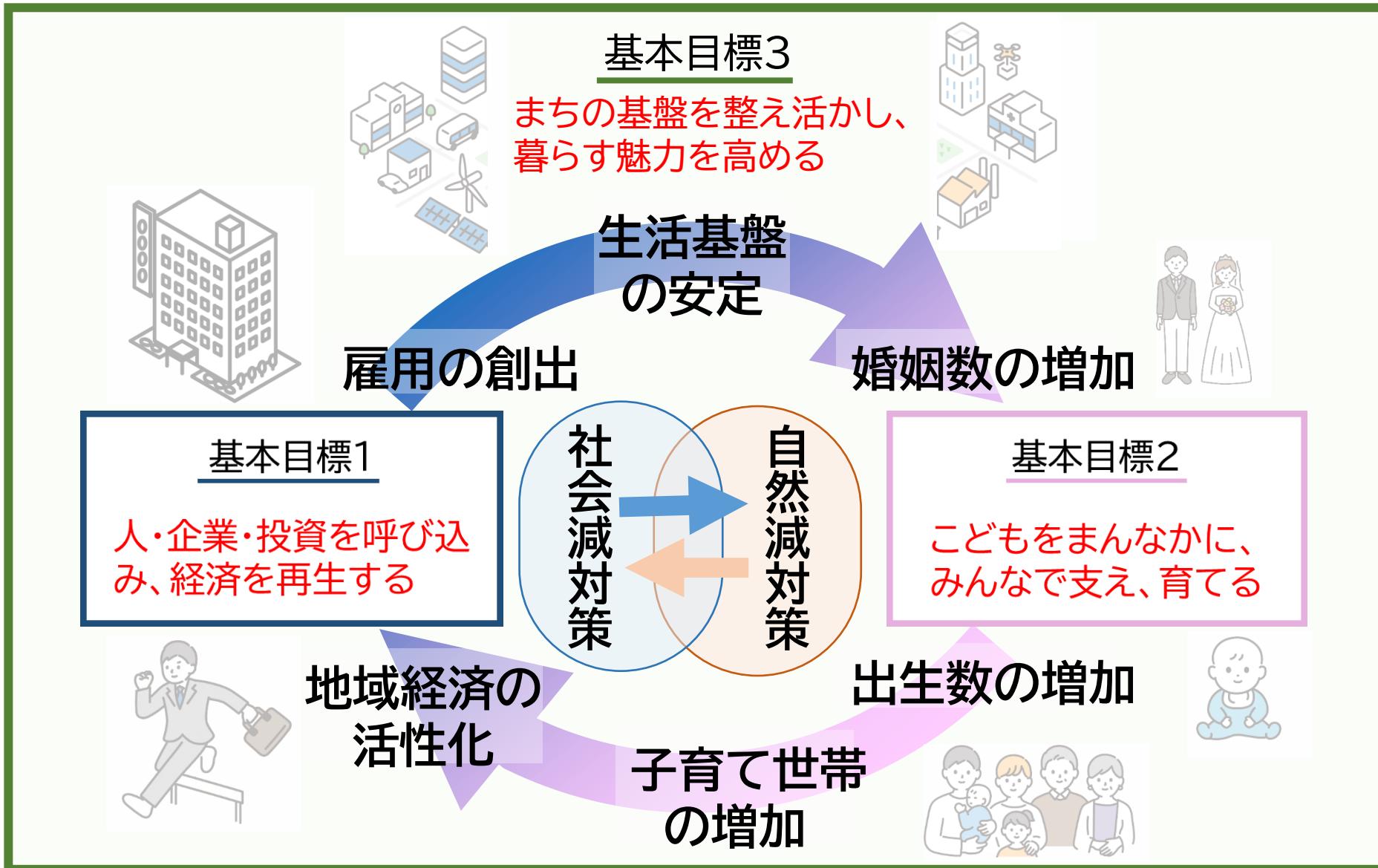
◆総括指標

指 標 名	基 準 値	目 標 値
各地区が住みやすいと思う市民の割合	72.6% (R6年度)	75.6% (R12年度)
自分が住んでいる地域に愛着を持っている市民の割合	75.6% (R6年度)	81.6% (R12年度)
これからも長崎市に住み続けたいと思う市民の割合	86.6% (R6年度)	90.0% (R12年度)

◆関連する 総合計画

A1	地域の個性を守り、伝え、活かします
E1	地域の連携・協力を促進し、防災体制を充実します
E2	犯罪、事故などのトラブルに遭わない地域をつくります
E3	快適な暮らしやすい市街地を形成します
E4	移動しやすい環境をつくります
G2	だれもが生涯を通じていきいと学べる社会をつくります
G3	スポーツ・レクリエーション活動を推進します
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します
H1	多様な主体が情報共有しながら参画と協働によるまちづくりを進めます

3つの基本目標の関係性



全体像

地域
ビジョン

基本的
な考え方

基本目標

具体的施策

横断的
視点

若い世代に選ばれ、「ひと」と「まち」が成長するながさき

人口減少を緩和させる

持続可能な「まち」をつくる

基本目標1

人・企業・投資を呼び込み、経済を再生する

基本目標2

こどもをまんなかに、みんなで支え、育てる

基本目標3

まちの基盤を整え活かし、暮らす魅力を高める

(1)地場企業・産業の支援

(2)新たな産業の創出

(3)交流の進化

(4)移住促進・関係人口の創出・拡大

(1)結婚希望者への支援

(2)こども・子育て支援

(3)教育環境の充実

(1)安全安心で暮らしやすいまちの基盤づくり

(2)市民が主体の誰一人取り残さない地域づくり

(3)地域資源を活かした魅力あるまちづくり

QOL
サステナブル

デジタル
ダイバーシティ

グローバル
レジリエンス